

経営比較分析表（令和元年度決算）

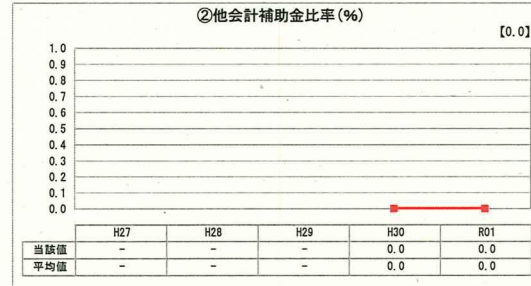
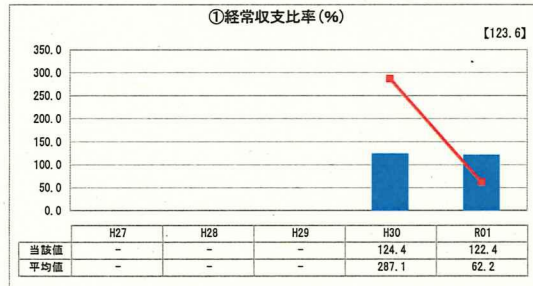
兵庫県洲本市 すいせん苑駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 1	非設置
自己資本構成比率 (%)	種類	構造	建設後の経過年数 (年)	
99.5	屈出駐車場	広場式	23	

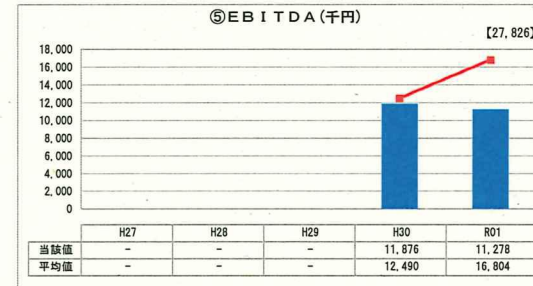
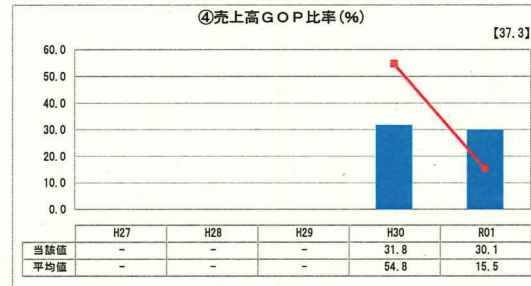
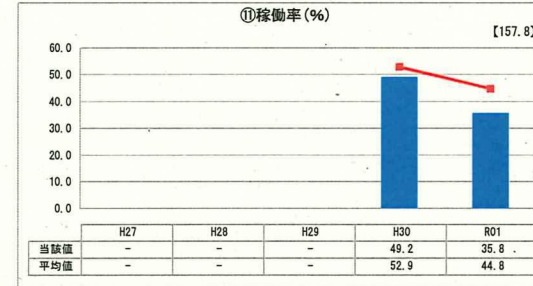
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積 (㎡)
商業施設	無	3,942
収容台数 (台)	一時間当たりの基本料金 (円)	指定管理者制度の導入
120	300	導入なし

グラフ凡例
■ 当該施設値 (当該値)
— 類似施設平均値 (平均値)
[] 令和元年度全国平均

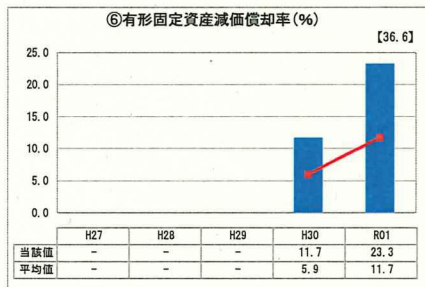
1. 収益等の状況



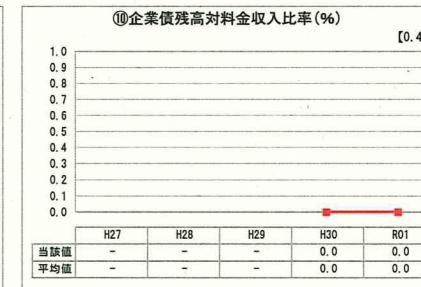
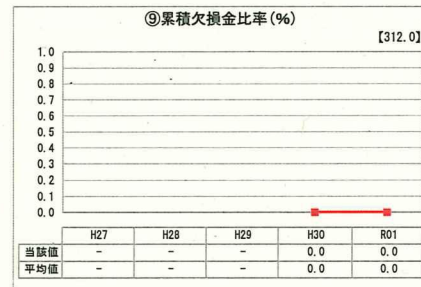
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑦敷地の地価 (千円)
15
⑧設備投資見込額 (千円)
1,000



分析欄

1. 収益等の状況について
経常収支比率は120%以上であり、安定して運営ができています。

2. 資産等の状況について
施設は来客用トイレ及び倉庫がある。有形固定資産減価償却率は20%程度であり、経年による劣化も相見られるので、改築等も視野に入れた計画が必要である。

3. 利用の状況について
稼働率は50%を下回っており、低い状況が続いている。本駐車場は当市内において大型バスの受入れが可能な唯一の駐車場であり、重要な役割を果たしている。

全体総括
稼働率は低い状況にあるが、近隣に県立医療センターがあり、また本市役所健康増進課が実施する特定検診時や各種イベント時には必要な駐車場となっている。市全体としては、現在の状況を継続していく事が最善であると考えられる。

経営比較分析表（令和元年度決算）

兵庫県洲本市 洲本インターチェンジ駐車場

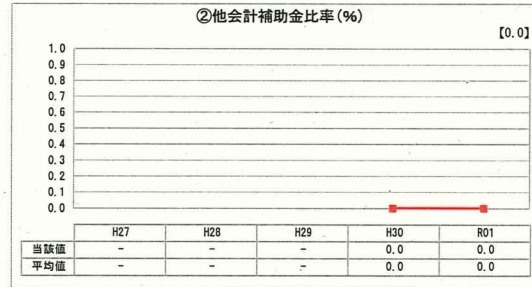
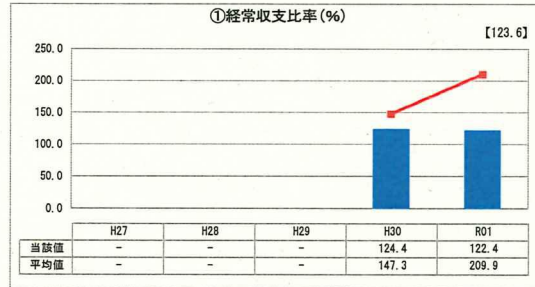
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
99.5	届出駐車場 その他駐車場	広場式	9	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
無	無	2,624
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
209	300	導入なし

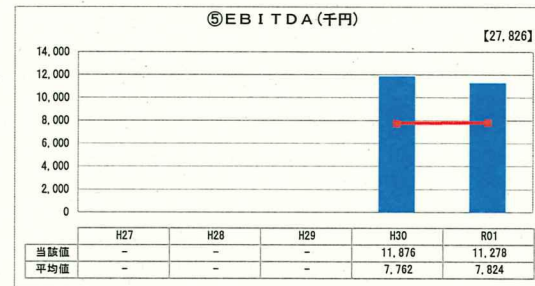
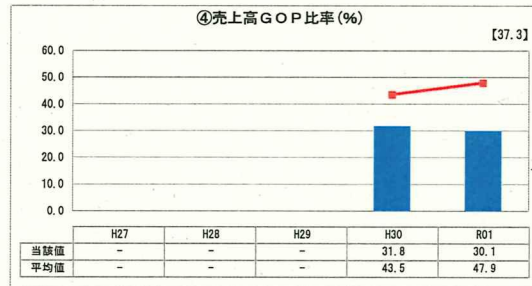
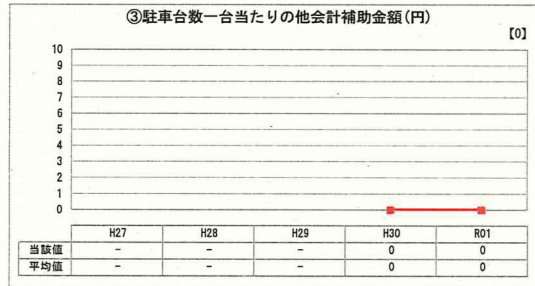
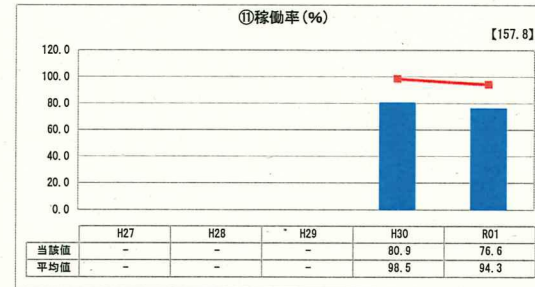
グラフ凡例

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- [] 令和元年度全国平均

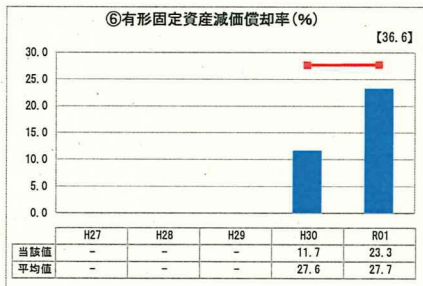
1. 収益等の状況



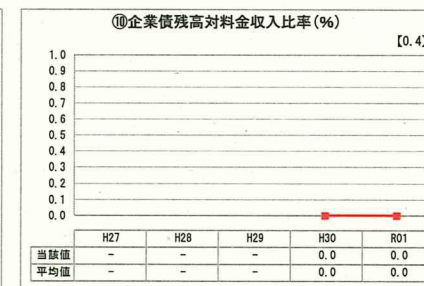
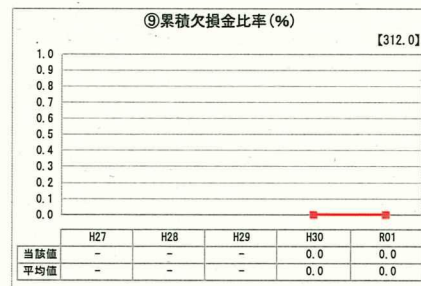
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)
11
⑧設備投資見込額(千円)
1,000



分析欄

1. 収益等の状況について
当施設は来客用トイレがある。有形固定資産減価償却率は20%程度であり、建屋・精算機当設備機器については、長寿命化に向けた改修や更新等が必要である。

2. 資産等の状況について
洲本インターチェンジ高速バス停の駐車場である。稼働率は前年度より微減している。令和元年度の利用については、76%であった。

3. 利用の状況について
洲本インターチェンジ高速バス停の駐車場である。稼働率は前年度より微減している。令和元年度の利用については、76%であった。

全体総括
本駐車場は高速バス停の駐車場であり、重要な役割を果たしている。現在のところは安定した運営が出来ている。敷地面積も広く、また警備員詰所から遠いため、管理経費も他2駐車場に比べて割高である。

経営比較分析表（令和元年度決算）

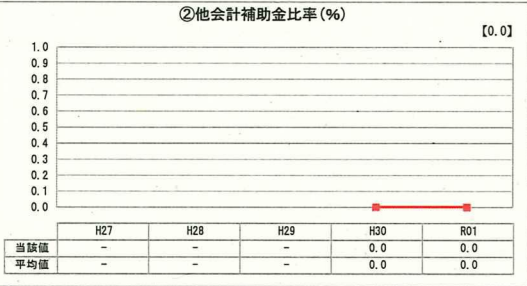
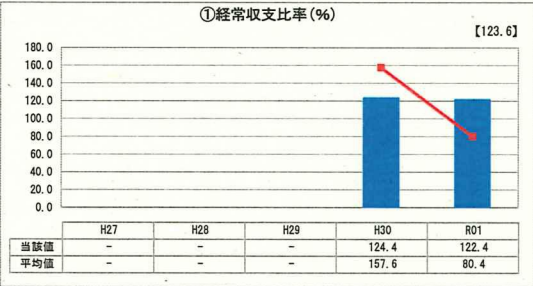
兵庫県洲本市 洲本バスセンター前駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法適用	駐車場整備事業	-	A 1 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
99.5	届出駐車場 その他駐車場	立体式	10	

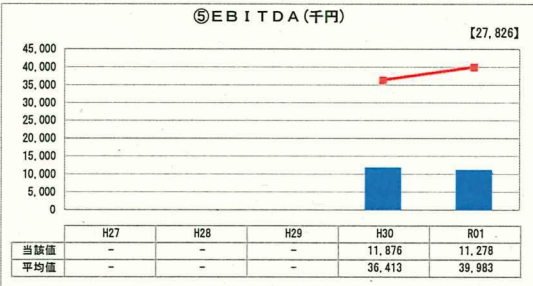
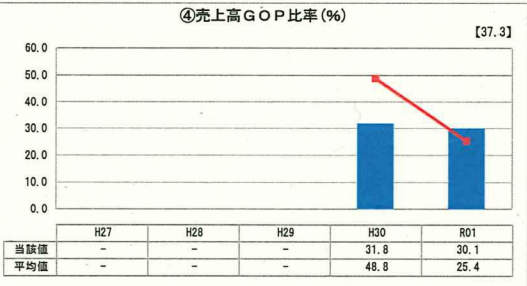
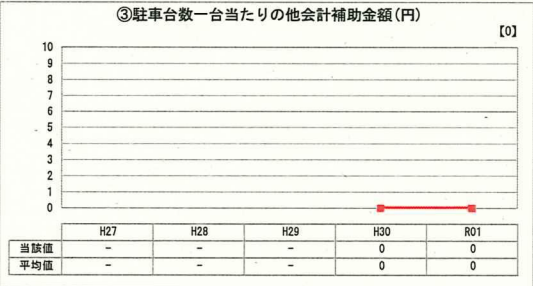
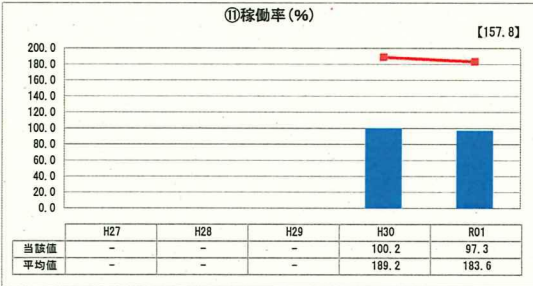
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	無	11,691
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
451	100	導入なし

グラフ凡例
■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
[] 令和元年度全国平均

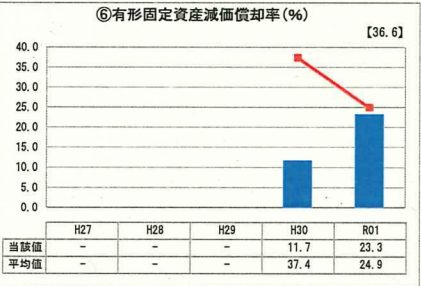
1. 収益等の状況



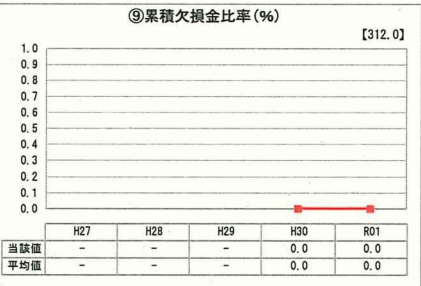
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)
35
⑧設備投資見込額(千円)
1,000



分析欄

1. 収益等の状況について
経常収支比率は120%を超えており、安定した運営が出来ている。要因として、定期的な利用がある。

2. 資産等の状況について
施設の構成は、業務員詰所・精算機や舗装設備である。資産の長寿命化に向けた整備・更新計画を検討し、進める必要がある。

3. 利用の状況について
前年度より微減である。土日の利用については低い状況である。

全体総括
当駐車場は、本市の観光の拠点として、また島内外への通勤者用として重要な役割を果たしている。加えて隣接地に当市健康福祉館があり、各種検診等の利用者駐車場としても機能している。他に現在は県立医療センター関係の定期的な利用があるため、安定した運営を行う事ができている。